



瀬戸内海・広島県・福山市

内海・沼隈
まるごと体験！！

福山まるごと体験推進協議会(構成 福山市, 沼隈内海商工会ほか)

〒722-2632 広島県福山市内海町口2407

TEL:084-986-3561 FAX:084-986-6058 MAIL:utsumi2240@sky-net.or.jp

○ 内海・沼隈まるごと体験！！

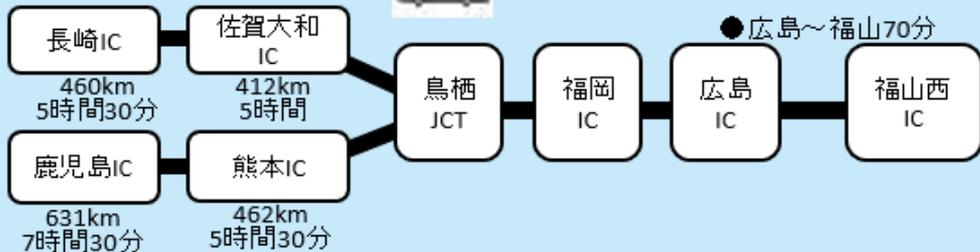
内海・沼隈町の紹介

福山市南部の沼隈半島に浮かぶ、田島・横島の2つの島からなる内海町と、豊かな自然に囲まれながら、造船業等の産業も盛んな沼隈町があります。

自然豊かな土地で育まれた穏やかで温かい人々との交流や、漁業・農業体験等の「ほんものの体験」を通して、生涯忘れられない経験ができると確信しています。

地域の人々は本当の家族を迎えるような気持ちで皆さんのお越しを心待ちにしています。ぜひ一度お越しください。

【福山市へのアクセス】



【福山市内からのバスアクセス】



【受入体制】※2025年4月1日現在

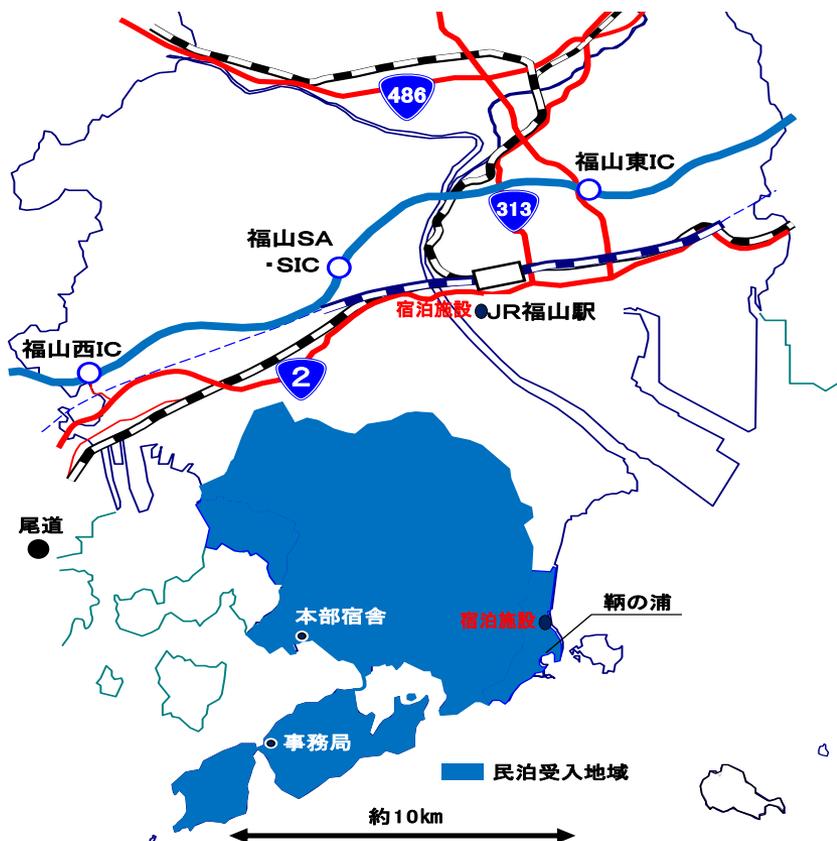
受入家庭数：約57軒

(内訳：内海約26軒、沼隈町及び周辺町約31軒(鞆、熊野、藤江、金江、瀬戸、松永))

受入可能人数：160人

【受入実績】(H28年度から受入開始)

H28年度：800名(10校) H29年度：719名(4校1団体)
 H30年度：1,207名(13校2団体) R1年度：2,271名(18校4団体)
 R2年度：279名(7校) R3年度：1,051名(11校)
 R4年度：2,035名(20校) R5年度：1,756名(25校)
 R6年度：実績：1,861名(25校2団体)
 R7年度：(予約)1,990(23校)



○ 内海・沼隈まるごと体験！！ 安全対策について

事故・トラブル等発生

9:00～17:00	福山まるごと体験推進協議会	084-986-3561
時間外	事務局長 渡辺 洋次郎	090-9062-9372

連絡

福山市
保健所
928-1165

【本部宿舎】
TEL 学校責任者
TEL 旅行添乗員
TEL

迎え

協議会会長
(副市長)
※行政内部の報告は
観光課で行う。

事故及びトラブル発生現場確認へ

状況確認・学校と相談・病院に搬送

状況報告

- 内海町いちかわ診療所 980-9099
- 倉田内科医院 988-0111
- 佐々木内科クリニック 980-0333
- 高橋医院 987-2345
- 常石医院 987-0045
- 村上泌尿器科内科医院 980-0115
- 沼隈病院 988-1888
- 藤井病院 982-2431
- 沼南医院 982-2044
- 徳永医院 983-5050
- 中村外科胃腸科医院 935-8055

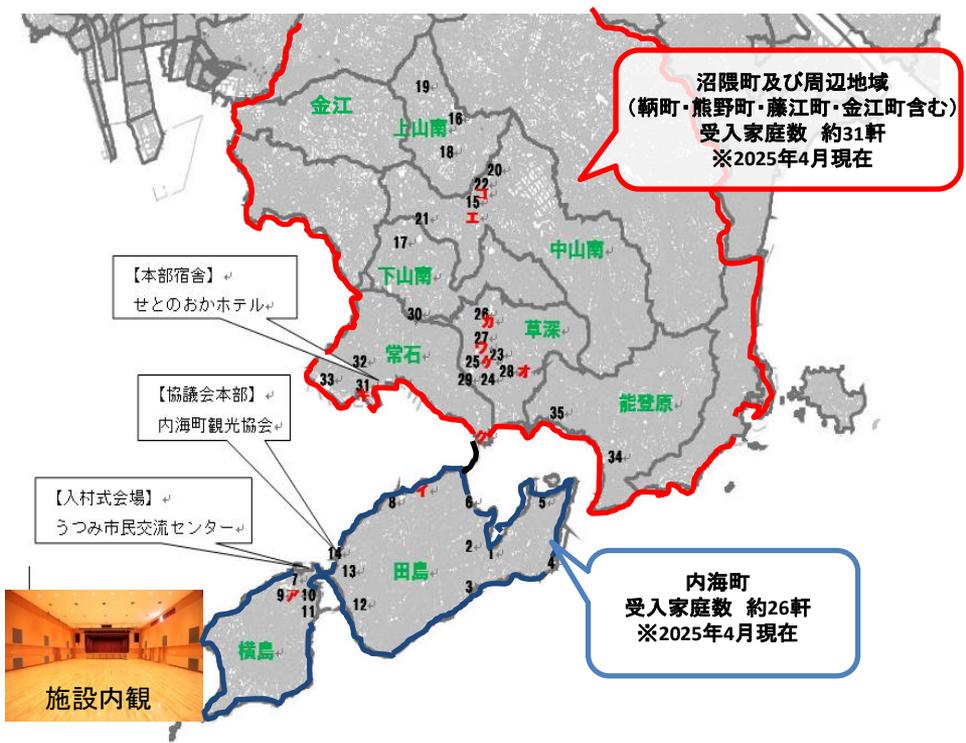
- 沼隈交番 987-0071
- 田島駐在所 986-2014
- 福山西警察 933-0110
- 鞆交番 983-5110
- 松永南交番 934-6341

- 福山地区消防組合
西消防署沼隈内海出張所
987-4119
- 南消防署鞆出張所
983-5119
- 西消防署
934-1355

- 尾道海上保安部
0848-22-21080
- 福山海上保安部
943-5950

【本部宿】せとのおかホテル

民泊家庭が集中する内海町まで車で15分のため、緊急時も安心です。
万が一の場合も、内海町まで陸続きのため、
救急車等も搬送可能。



■病院

No.	病院名	電話番号
ア	内海町いちかわ診療所	980-9099
イ	木下メディカルクリニック	987-1252
ウ	倉田内科医院	988-0111
エ	佐々木内科クリニック	980-0333
オ	高橋医院	987-2345
カ	常石医院	987-0045
キ	村上泌尿器科内科医院	980-0115
ク	沼隈病院	988-1888
ケ	藤井病院	982-2431
コ	沼南医院	982-2044
サ	徳永医院	983-5050

■緊急時の避難場所

1	内浦小学校	14	内海ふれあいホール	27	林崎集会所
2	内浦公民館	15	山南小学校	28	浜組集会所
3	沖集会所	16	至誠中学校	29	沼隈サンバル
4	箱崎集会所	17	広島県立沼南高等学校	30	沼隈体育館
5	寺山集会所	18	広島県立沼隈特別支援学校	31	常石小学校
6	釜谷集会所	19	菅田ふれあいプラザ	32	中組集会所
7	内海小学校	20	下八日谷集会所	33	西組集会所
8	内海中学校	21	沼隈体育センター	34	能登原小学校
9	内海公民館	22	清神会館	35	桜集会所
10	やまわり会館	23	千年小学校	36	熊野小学校
11	あみよしコミュニティセンター	24	千年中学校	37	鞆の津ふれあいサロン
12	南地区コミュニティセンター	25	千年公民館	38	鞆平老人集会所

○ 内海・沼隈まるごと体験！！

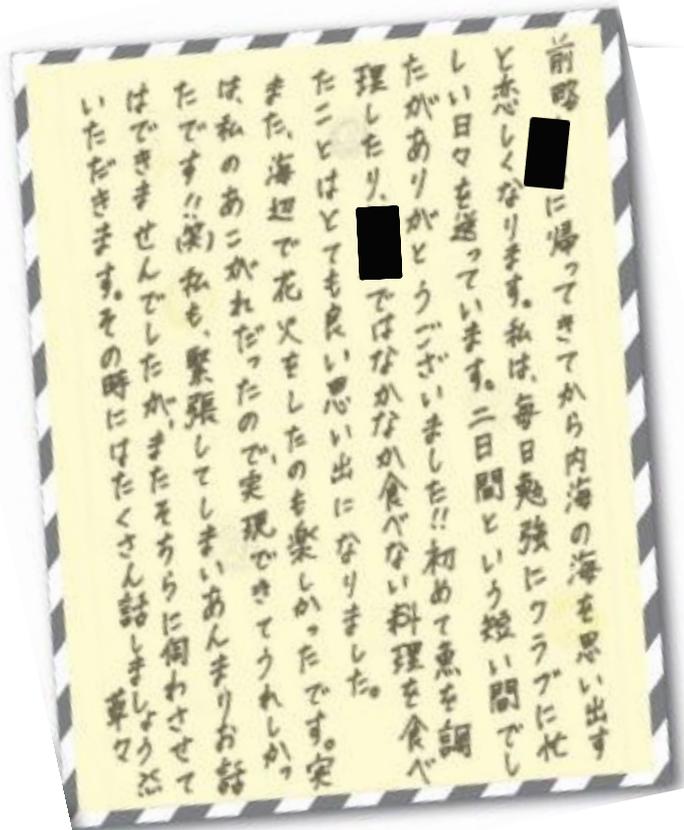
民泊体験について

内海・沼隈町には、澄みきった空、山や森から海に続く豊かな自然・心豊かな田舎の暮らしがあります。

お客さまとしてではなく、家族の一員として迎え、親子や家族と居る当たり前にあるべき、人と人との関係を確認できる機会にしてほしいと願っています。

地域食材でつくる田舎料理を学び、家族の団らんを味わい、生活が全く異なる体験をすることから、自らの生活や家庭、生き方を省みる機会となってほしいと考えています。

\\ 生徒さんより感謝の手紙が届いています。 //



「みんなく通信」を発行し、さらなる受入家庭の募集や、定着を図っています。

一人でも多くの中学生・高校生に田舎での体験と交流を提供していきたいと考えています。

○ 内海・沿岸まるごと体験！！

おすすめプログラム

◆生徒の声

底曳網漁でとれた魚がとてもおいしかった

底曳網漁体験



海に生きる漁師と一緒に船に乗って、勇壮な漁を体験！

大きな網を水深数十メートルの海底まで入れ船を移動させ引き回す漁法
船上での漁師との交流により「生きる力」を養うことができます

【教育効果】

①命の大切さを学ぶ ②環境保全への関心を高める ③生きる力を育む

(受入可能人数:50名 実施時期:通年)

定置網漁体験



網引きから魚の選別まで、漁師と一緒にまるごと体験！

垣網という長い網に魚がぶつかり主網の中に入った魚を網ごと引き揚げる漁法
引き揚げ作業や魚の選別作業を行います

【教育効果】

①命の大切さを学ぶ ②環境保全への関心を高める ③生きる力を育む

(受入可能人数:50名 実施時期:①10月下旬～2月下旬 ②3月下旬～5月下旬)

シーカヤック体験



心地良い潮風と穏やかな瀬戸内海に行く爽快感を！

穏やかな瀬戸内海でシーカヤックを楽しみながら名所を巡ります。

インストラクターの助言で仲間との意思疎通を図ることでコミュニケーション能力を
身に付けます

【教育効果】①チームワークやコミュニケーション能力向上 ②自主性達成感を育む

(受入可能人数:60名 実施時期:3月～11月)

◆生徒の感想

水がかかっても楽しかった！

沼隈町・内海町の魅力・課題 SDGs探求学習テーマ

新学習指導要領の改訂で従来からの「生きる力を育む」に加えて「主体性・対話的で深い学び」の視点から特別教育活動，とりわけ修学旅行等で，その実現に向けての期待が高まります。主体的に事前・事後学習を行うことに加え，現場での対話的な体験学習により狙いの深い学びとなります。旅行先での学習のテーマは地域事情に合致したものでなくてはなりません。地域の魅力と課題を示すことにより主体的なテーマの選択が可能となります。

魅力

①魚や海苔など海の幸が美味しい

内海町の手取は色艶が良く大変香ばしく，高品質で，広島県内で生産量は1番！
漁家も多く，春から秋にかけて瀬戸内の穏やかな海で定置網漁や底曳網漁が体験できます。獲れた魚は，豊かな瀬戸内海で育まれて脂がのっており，お店や民泊先でとても美味しく食べられます。

②瀬戸内海が多島美を望む切石山と内海大橋,鞆の浦

切石山からは，遠くは愛媛県までも眺められ，行き交う船，浮かぶ島々は絶景です。
大きくカーブする内海大橋(全長832m)は，本土と内海町を結び，瀬戸内のアクセントになっています。また,古くから潮待ちの港として栄えた鞆の浦には多くの歴史文化が遺っています。

③穏やかで豊かな自然がいっぱい

瀬戸内の穏やかな海では，クルージング・シーカヤック・釣りなどのマリナクティビティや漁業体験など魅力いっぱいの体験が揃っています。

課題

①空き家・耕作放棄地の増加

少子高齢化に伴い，沼隈町・内海町の人口は年々減少し，空き家や耕作放棄地が増加しています。
また，耕作放棄地の害虫の増加，鳥獣による被害の拡大など住民の生活環境を悪くしています。

②子どもの減少

当地は里山や海が近く自然に触れながら子育てができる素晴らしい環境ですが，少子高齢化が進んでいます。

③一次産業の後継者の不足

沼隈町ではぶどう栽培，内海町では漁業に取り組んでいますが，漁獲量の減少，自然の影響による収入の不安定さや重労働などから，若い後継者が不足しています。今後，一次産業の魅力や食のおいしさを情報発信し，若者世代の理解が深まることが重要です。

海の環境を考える 漁場再生：海底ゴミの回収プログラム

—福山市内海町・沼隈町 SDGs 探究学習プログラム—



○体験プログラムのねらい

瀬戸内海の漁場では、プラスチックごみなど自然分解が困難なゴミの漂流堆積により海洋汚染が進むとともに、漁業は少子高齢化による後継者不足の課題があります。海洋汚染防止の意識を高め「使用し、捨てる」を繰り返してきた日常生活を見直すきっかけとし、内海町の特性に適した働き甲斐のある漁業について考えます。



底曳網漁で上げられた網には
1度にこんなに多くのゴミが



○体験プログラムの流れと課題探求の手順

- ① 開始（自己紹介・体調確認・安全対策）
- ② インストラクターによる概要説明
- ③ どのようなゴミがあるか海の状況について理解する
- ④ 作業内容について理解する
- ⑤ 実体験から労働の大変さとやりがいを理解する
- ⑥ 未来に向かって必要な産業であるのか考える
- ⑦ どんな課題が存在しているのか考える
- ⑧ 課題解決の障害はあるのか考える
- ⑨ 課題解決策を考え議論する
- ⑩ まとめの会（体調確認・感想発表）

○体験プログラムの教育効果

- ① 瀬戸内海の気象的地形の特徴を理解する
- ② 地球温暖化の自然環境に対する影響について学ぶ
- ③ 労働の尊さや価値とやりがいについて学ぶ
- ④ 食文化・過疎高齢化等日本の社会問題を理解する
- ⑤ 情報を整理し自分事として考え議論する
- ⑥ 設問をグループで考えるチームビルディング
- ⑦ 達成感、爽快感、充実感を体感する

○プログラムから伝えたいこと

- ① やりがいのある仕事や社会貢献について考える
- ② 環境問題への関心を高めることで日常生活を改めるきっかけを作る
- ③ 社会の一員として生きる力を養う

○服装・装備・準備物

帽子・長袖シャツ・長ズボン・運動靴・タオル・軍手・水分

○受入人数 50名 ○所要時間 3時間 ○実施時期 通年



引き揚げられた大量の海底ゴミ

SDGs を目指して行動変容に繋げたい事柄

未来の漁業を考えよう カキ養殖による産業づくりについて

—福山市内海町・沼隈町 SDG s 探究学習プログラム—



○体験プログラムのねらい

福山市内海町の海は穏やかでプランクトンが多く生殖しており牡蠣養殖に適した条件がそろっています。牡蠣養殖産業は近年の食文化の変化や少子高齢化で後継者不足にあります。現場を体験し、生産者から情報収集して課題解決を考え、自らが何ができるか考えます。



海に設置されたカキ筏



カキセンター作業風景



水揚げされた牡蠣

○体験プログラムの流れと課題探求の手順

- ① 開始（自己紹介・体調確認・安全対策）
- ② 牡蠣養殖の適地条件と概要を理解する
- ③ 内海町の海の状況について理解する
- ④ 牡蠣養殖にどんな作業があるのか理解する
- ⑤ 実体験から労働の大変さとやりがいを理解する
- ⑥ 未来に向かって必要な産業であるのか考える
- ⑦ どんな課題が存在しているのか考える
- ⑧ 課題解決の障害はあるのか考える
- ⑨ 課題解決策を考え議論する
- ⑩ まとめの会（体調確認・感想発表）

○体験プログラムの教育効果

- ① 瀬戸内海の気象的地形の特徴を理解する
- ② 地球温暖化の自然環境に対する影響について学ぶ
- ③ 労働の尊さや価値とやりがいについて学ぶ
- ④ 食文化・過疎高齢化等日本の社会問題を理解する
- ⑤ 情報を整理し自分事として考え議論する
- ⑥ 設問をグループで考えるチームビルディング
- ⑦ 達成感、爽快感、充実感を体感する

○プログラムから伝えたいこと

- ① 仕事は大変だがやりがいがあり社会貢献になる
- ② 牡蠣養殖するための海の状況を救うため一人ひとりが行動する
- ③ 社会の一員として生きる力を養う

○服装・装備・準備物

帽子・長袖シャツ・長ズボン・運動靴・タオル・ゴム手袋・水分

○受入人数 30名 ○所要時間 3時間 ○実施時期 通年



養殖された内海町カキ小町

SDG s を目指して行動変容に繋げたい事柄

未来の海を考える 海のゴミを宝に変えるアップサイクル

—福山市内海町・沼隈町 SDG s 探究学習プログラム—



○体験プログラムのねらい

瀬戸内海では、プラスチックごみなど自然分解が困難なゴミの漂流堆積により海洋汚染が進むとともに、内海町の歴史ある漁場を悪化させています。美しい内海町の自然を感じながら、海洋汚染防止の意識を高め「使用し、捨てる」を繰り返してきた日常生活を見直すきっかけとし、自ら何ができるか考えます。



○体験プログラムの流れと課題探求の手順

- ① 開始（自己紹介・体調確認・安全対策）
- ② 海岸で自分が工作に使うシーグラスや海洋プラスチックを拾う
- ③ 何故浜辺に海ゴミが漂着しているのか考える
- ④ 瀬戸内海 内海町の海の状況について理解する
- ⑤ 屋内で講師からシーグラスペンの作り方を説明
- ⑥ 自分で拾った漂着物を使ってそれぞれが制作
- ⑦ どんな課題が存在するのか考える
- ⑧ 課題解決策を考え議論する
- ⑨ 未来に向かって必要な行動を考える
- ⑩ まとめの会（体調確認・感想発表）

○体験プログラムの教育効果

- ① 瀬戸内海の気象的地形の特徴を理解する
- ② 海ゴミの自然環境・地域に対する影響について学ぶ
- ③ 海洋環境汚染と社会とのつながりを理解する
- ④ アップサイクルの尊さや価値とやりがいについて学ぶ
- ⑤ 情報を整理し自分事として考え議論する
- ⑥ 設問をグループで考えるチームビルディング
- ⑦ 達成感、爽快感、充実感を体感する

○プログラムから伝えたいこと

- ① 海洋環境問題から持続可能な暮らしについて考える
- ② 海の状況を救うため一人ひとりが行動する
- ③ 社会の一員として生きる力を養う

○服装・装備・準備物

帽子・長袖シャツ・長ズボン・運動靴・タオル・ゴム手袋・水分

○受入人数 30名 ○所要時間 3時間 ○実施時期 通年



豊かな海を守るために作ったシーグラスペン

SDG s を目指して行動変容に繋げたい事柄

本部宿舎 せとのおかホテル

〒720-0313 広島県福山市沼隈町常石甲1273番地
TEL:084-987-2116 FAX:084-987-2960



全受入家庭まで約15分圏内なので先生も安心！

◆部屋タイプ

シングルルーム	Dタイプ28㎡	8室
シングルルーム	Sタイプ12㎡	36室

※Dタイプはダブルベッド ※洋室のみ

「せとのおかホテル」は、ツネイングループの保養施設として運営されており、原則として社員寮およびグループ関係者向けの宿泊施設となっております。そのため、一般団体の予約受付はしておりません。ご予約につきましては、必ず当協議会（福山まるごと体験推進協議会）を通じてのお申し込みをお願いいたします。また、施設内には「Dタイプ」と「Sタイプ」の2種類のお部屋がございますが、Sタイプはツネイングループ関係者が優先的に利用されるため、まずはDタイプからのご予約をお願いしております。なお、Dタイプのお部屋が満室となった場合に限り、空き状況を確認の上でSタイプのご案内が可能となります。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

本部宿舎景勝館 連亭 (Keishokan Sazanamitei)

〒720-0201 広島県福山市鞆町鞆421番地
TEL:084-982-2121 FAX:084-982-0155



◆ 部屋タイプ (定員107名)

【本館】和室10畳

和室10畳

【別館】和室8畳(ツイン)

和室16畳(8名まで)

和室8畳

8室(部屋風呂あり)

4室(露店風呂付き)

10室(部屋風呂なし)

1室(部屋風呂なし)

3室(露店風呂付き)

※送迎なし

※別途入湯税150円/名

手配可能時期:約6か月前

本部宿舎福山ニューキャッスルホテル

〒720-0066 広島県福山市三之丸町8-16
TEL:084-922-2121 FAX:084-923-6813



和食堂「鞆の浦」夕食イメージ



宿泊部屋イメージ



和食堂「鞆の浦」朝食イメージ



ビュッフェレストラン「クレール」朝食イメージ



※朝食は「和定食」「和洋ビュッフェ」からお選びいただけます。

◆部屋タイプ(全洋室) 定員(250名)
オールシングル